

令和4年5月20日
総務省
(一財)自治体国際化協会

第16回自治体国際交流表彰（総務大臣賞）

自治体国際交流表彰（総務大臣賞）は、日本と外国の自治体の姉妹自治体提携等に基づく交流活動のうち、創意と工夫に富んだ取組を行っている団体を表彰し、広く全国に紹介することによって、自治体国際交流の更なる活性化を図り、もって地域の国際化に資することを目的としています。

このたび、次のとおり受賞団体が決定しましたので、お知らせいたします。

受賞団体

- 公益財団法人 加古川市国際交流協会（兵庫県）
- 認定特定非営利活動法人 岡山市日中友好協会（岡山県）
- 沖縄県（沖縄県）

（添付資料）

- ・第16回自治体国際交流表彰（総務大臣賞）受賞団体の概要（1頁～6頁）
- ・自治体国際交流表彰（総務大臣賞）の概要（7頁）

（連絡先）

総務省自治行政局国際室 ^{たがしら}田頭 参事官補佐、大橋主査、寺田

電話：03-5253-5527（直通）

FAX：03-5253-5529

E-mail：kokusai@soumu.go.jp

(一財)自治体国際化協会交流親善課 松田課長、大石

電話：03-5213-1723（直通）

FAX：03-5213-1742

E-mail：shimai@clair.or.jp

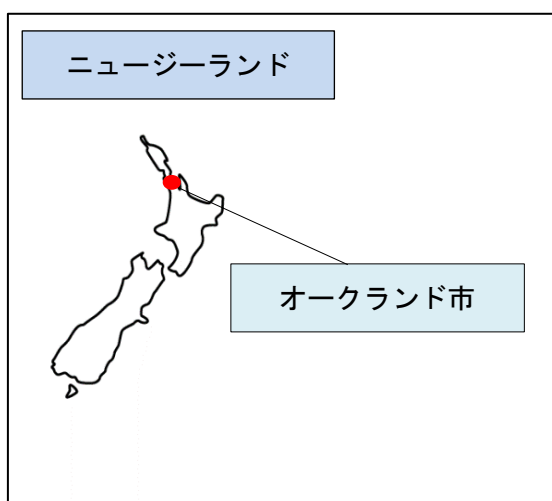
第 16 回自治体国際交流表彰（総務大臣賞） 受賞団体の概要

○ 公益財団法人 加古川市国際交流協会（兵庫県）

（1）交流先 <姉妹（友好）都市提携年月日> ※各都市との交流の取組は 4 頁参照

- ① マリンガ市（ブラジル連邦共和国）<昭和 48 年 7 月 2 日>
- ② オークランド市（ニュージーランド）<平成 4 年 5 月 4 日>
- ③ 桂林市（中華人民共和国）<昭和 63 年>

（2）各都市について

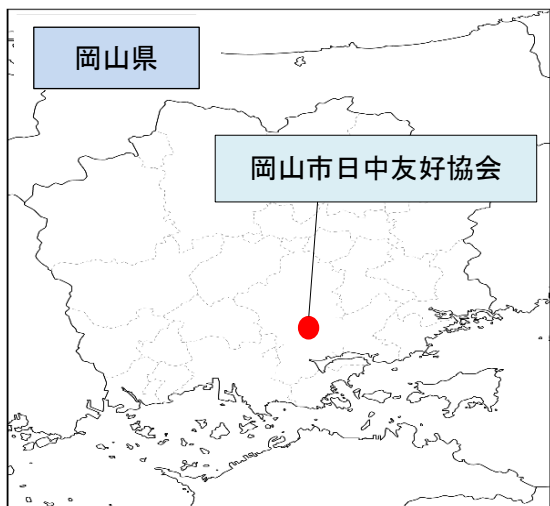


○ 認定特定非営利活動法人 岡山市日中友好協会（岡山県）

（１）交流先 <姉妹（友好）都市提携年月日> ※各都市との交流の取組は５頁参照

① 洛陽市人民対外友好協会（中華人民共和国） <昭和５６年４月６日>

（２）各都市について



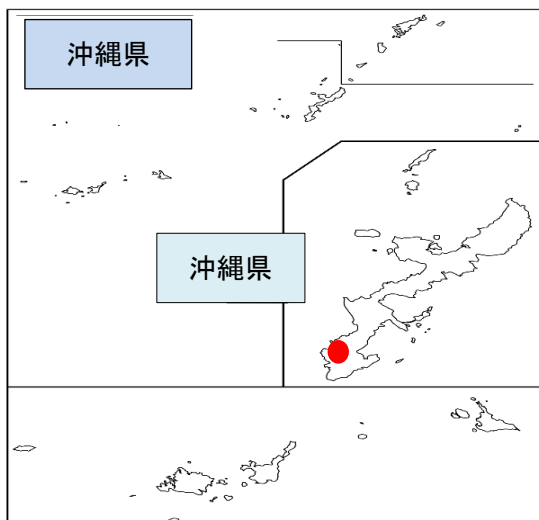
○ 沖縄県

（１）交流先 <姉妹（友好）都市提携年月日> ※各都市との交流の取組は６頁参照

① 国内外の県人会

② 福建省（中華人民共和国） <平成９年９月４日>

（２）各都市について



※沖縄県は国内外の県人会の取組も対象としている

第16回 自治体国際交流表彰について

自治体国際交流表彰とは

- 日本の自治体等で実施されている外国の自治体との姉妹自治体提携等に基づく交流活動のうち、創意と工夫に富んだ優良事例の取組を行っている自治体等を表彰し、広く全国に紹介することによって、自治体国際交流の更なる活性化を図るとともに、地域の国際化に資することを目的として、平成18年度から実施している。
- 第1回から第15回までの間で、43の自治体等が受賞している。

第16回 自治体国際交流表彰 受賞団体（3団体）

- 公益財団法人 加古川市国際交流協会（兵庫県）
 - ①マリンガ市（ブラジル連邦共和国）、②オーランド市（ニュージーランド）、③桂林市（中華人民共和国）との交流の取組
- 認定特定非営利活動法人 岡山市日中友好協会（岡山県）
 - ①洛陽市人民対外友好協会（中華人民共和国）との交流の取組
- 沖縄県
 - ①国内外の県人会（海外101団体、国内33団体）、②福建省（中華人民共和国）との交流の取組

第16回 自治体国際交流表彰 審査委員会

- あがた 縣 公一郎（早稲田大学政治経済学術院 教授）（令和3年12月1日 時点）
く 久邇 良子（東京学芸大学教育学部 教授）【委員長】
荒見 玲子（名古屋大学大学院法学研究科 教授）
土山 希美枝（法政大学法学部 教授）
水田 秀子（（公財）かながわ国際交流財団 前専務理事）
柴垣 禎（（特活）多文化共生マネージャー全国協議会 理事、
NGOダイバーシティーとやま 事務局長）
二一ナ・ハツカライネン（外国人女性の会 パルヨン 代表理事）
藤田 穰（（公財）全国市町村研修財団全国市町村国際文化研修所 学長）
上坊 勝則（総務省自治行政局 参事官 兼 国際室 室長）
鳥田 浩平（（一財）自治体国際化協会 理事）

最近の受賞団体

- 第15回（令和3年5月）※報道発表のみ（式典は開催していない）
 - ・名寄・リンゼイ姉妹都市友好委員会（名寄市（北海道））
 - ・鶴岡・ニューブランズウィック友好協会（鶴岡市（山形県））
 - ・特定非営利活動法人 三重県日本中国友好協会（三重県）
- 第14回（令和2年5月）※報道発表のみ（式典は開催していない）
 - ・富山県（京都府）
 - ・京都市（京都府）
 - ・薩摩川内市（鹿児島県）
- 第13回（平成31年4月）
 - ・立川・サンバーナデイノ姉妹市委員会（立川市（東京都））
 - ・新城市（愛知県）
 - ・滋賀県

第16回自治体国際交流表彰の受賞団体の取組について (公益財団法人 加古川市国際交流協会)

交流先：①マリンガ市（ブラジル連邦共和国）、②オークランド市（ニュージーランド）、③桂林市（中華人民共和国）

これまでの取組について(概要)

① マリンガ市

- 1973年にマリンガ市と姉妹都市提携を締結。市民訪問団の定期的な相互派遣や、青年海外派遣事業の継続的相互派遣等積極的な人的交流を実施。
- マリンガ市とは、28回の青年海外派遣に加え、マリンガ市の「加古川・マリンガ外国語センター」の設置を支援し、日本語学習図書や器材の寄贈を行うなどマリンガ市での日本語教育を支援。
- 2021年には、東京オリンピック・パラリンピックのブラジルホストタウンとしてブラジルシテイングバレーボール競技の応援や交流をオンラインで実施し、市内小学生とマリンガ市の小学生とのメッセージ交換事業を実施。

② オークランド市

- 1992年にオークランド市（当時ワイタケレ市）と姉妹都市提携を締結。市民訪問団の定期的な相互派遣や、中学生海外派遣事業、障がい者海外派遣事業などの継続的な中学生派遣事業を実施。
- オークランド市とは、中学生海外派遣を29回実施し、また、障がいを持つ中学生の派遣事業を28回実施、現地の学校等への訪問などの体験交流事業を長年実施。

③ 桂林市

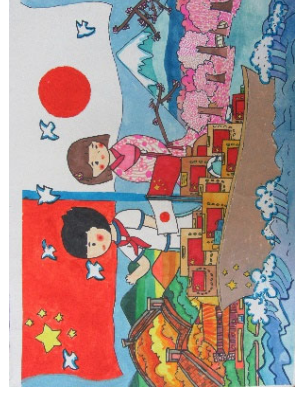
- 1988年に桂林市と市民病院間の医学交流が始まり、医師の相互派遣等をはじめとして、市民訪問団の相互派遣など自治体間の交流として発展。
- 桂林市とは、医学交流や市民訪問団の相互派遣など、多方面にわたる交流を実施。
- コロナ禍においても、互いにマスクを寄贈するなどの交流事業を継続。



加古川マリンガ外国語センター前
加古川市青年海外派遣生とともに



加古川障がい者海外派遣生
オークリンズスクール訪問



桂林市のこども書画作品展
桂林市のこどもの日本との交流の絵

第16回自治体国際交流表彰の受賞団体の取組について (認定特定非営利活動法人岡山市日中友好協会)

交流先：洛陽市人民対外友好協会(中華人民共和国)

これまでの取組について(概要)

- 1981年に、岡山市と洛陽市が友好都市を締結。
- 「市民みんなで日中友好」を旗頭に、行政と協働し、40年間にわたる民間交流や医療交流等を110回以上継続して実施。
- コロナ禍においても、友好都市締結40周年記念イベントや学校間の教育交流をオンラインで実施するなど交流を継続。
- 友好都市締結以来、洛陽市で開催される洛陽牡丹文化祭に合わせて、市民訪問団を派遣し岡山市が派遣する公式訪問団と合流し、官民挙げての市民交流を継続して実施。
- 節目の年には、チャーター便での大型訪問団を派遣。
- また、2005年より12年にわたり、両市の市民ボランティアによる黄河沿いの植林活動を実施し、約300haの植林事業を達成。
- 2021年には、友好都市締結40周年記念日に合わせ、両市の寺院でオンラインで友好の鐘をつき合い友好を確認。
- 岡山市の中学校と洛陽市の東昇第二中学間で約300名の生徒交流をオンラインで実施。



両市の市民ボランティアによる
黄河沿いの植林活動



両市の中学生300名が参加した
オンライン中学生交流会

第16回自治体国際交流表彰の受賞団体の取組について (沖縄県)

交流先：①国内外の県人会(海外101団体、国内33団体)、②福建省(中華人民共和国)

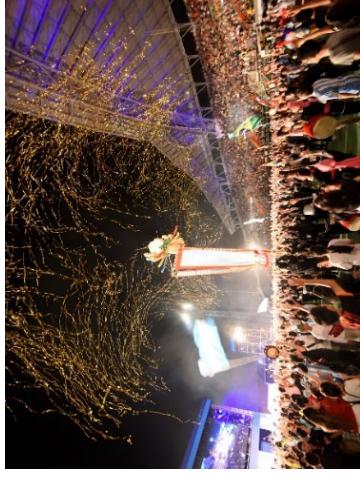
これまでの取組について(概要)

① 国内外の県人会

- 1990年度から国内外の沖縄県系人(ウチナーンチュ)が沖縄県に集まり、沖縄県人等のネットワークを強固なものとするとともに国際交流施策に係る提言等を行う「世界のウチナーンチュ大会」を定期的に開催。
- 2016年には、沖縄県の風土や伝統文化等を象徴する日として「世界のウチナーンチュの日」を制定。
- 海外県人会が「ウチナーンチュの日」に実施する催し等への沖縄文化芸能指導者を派遣し、エイサー、琉舞、三線等を指導するワークショップをこれまで5ヶ国6ヶ所の県人会において実施。
- 沖縄県の国内外移住者の子弟(中学生)を招聘し、同世代の青少年と合宿を通して絆を深める「ウチナーンチュニアスタデー」を2001年から実施。
- 多言語による情報発信・集約や相互交流の促進、相談窓口等を担う「ウチナーネットワークコンシエルジュ」を2021年からJICA沖縄センター内に設置。

○福建省(中華人民共和国)

- 1997年に沖縄県と福建省が友好県省を締結し、2014年には福州駐在所を開設。
- 福建省との公費留学生の受入・派遣や、沖縄県と福建省の大学間で演舞を競う福建省大学エイサー大会を継続して実施。
- コロナ禍においてもオンライン等での交流を実施。



世界のウチナーンチュ大会(2016年)



ウチナーンジュニアスタデー(2019年)



沖縄県福建省友好県省締結20周年事業(2017年)

自治体国際交流表彰（総務大臣賞）の概要

1 主催

総務省、一般財団法人 自治体国際化協会

2 表彰団体

日本の自治体と外国の自治体の姉妹自治体提携等に基づく交流活動を行っている次の団体とする。

- (1) 都道府県及び市区町村
- (2) 地域国際化協会、国際交流協会等の民間非営利団体

3 賞の種類及び表彰団体数

総務大臣賞 3 団体以内

4 審査基準

次の(1)～(6)の各項目を基準とする。

- (1) 先進性 他模範となる先進的な取組 等
- (2) 独自性 創意工夫、地域独自の特性を活かした取組 等
- (3) 継続性 活動の継続、効果や実績の定着、(実績は少なくとも)今後の活動の継続性・発展性が期待できる取組 等
- (4) 活発性 活動内容の充実の度合い、頻度、広がり 等
- (5) 協働性・連携性 住民や企業との協働、連携 等
- (6) 効果 地域の国際化、地域経済の活性化、地域の知名度やイメージの向上 等

5 選考方法

応募のあった団体及び他団体から推薦のあった団体について、有識者等で構成する審査委員会の審査を経て、総務省と一般財団法人 自治体国際化協会が決定する。

○第 16 回自治体国際交流表彰（総務大臣賞） 審査委員会委員(令和 3 年 12 月 1 日時点)

- ・ 縣 公一郎 早稲田大学政治経済学術院 教授
- ・ 久邇 良子 東京学芸大学教育学部 教授
- ・ 荒見 玲子 名古屋大学大学院法学研究科 教授
- ・ 土山 希美枝 法政大学法学部 教授
- ・ 水田 秀子 公益財団法人 かながわ国際交流財団 前専務理事
- ・ 柴垣 禎 特定非営利活動法人 多文化共生マネージャー全国協議会 理事
NGO ダイバーシティとやま 事務局長
- ・ ニーナ・ハッカライネン 外国人女性の会 パルヨン 代表理事
- ・ 藤田 穰 公益財団法人 全国市町村研修財団全国市町村国際文化研修所 学長
- ・ 上坊 勝則 総務省自治行政局 参事官 兼 国際室 室長
- ・ 鳥田 浩平 一般財団法人 自治体国際化協会 理事